

RIKKYO SECOND STAGE

Contents

P1 手がかりをつかむ

P2 入学式とウェルカムパーティー P2~3 本科生の横顔

P4~5 本科ゼミナール紹介

P6~7 専攻科生に聞きました/新科目紹介ほか

P8 公開講演会/アーリーサマーパーティー開催ほか

立教セカンドステージ大学(RSSC)は、立教大学が提供する生涯学習の場です。RSSCは、RIKKYO SECOND STAGE COLLEGEの略称です。



🌣 行:立教大学 「立教セカンドステージ大学」

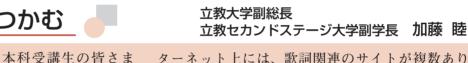
編集責任:加藤 睦 編集長:伊能 優子

発 行 日:2016年9月25日

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1



手がかりをつかむ





の中には、修了論文の執 筆にどう着手してよい か迷っている方がい らっしゃると思います。 そこで、一つのサンプル として、私がテーマを仮 に設定し、主としてイン ターネットを利用して、 研究への着手を試みて

みようと思います。

テーマは「快活な笑い」。テーマ設定の理由は、Dreams Come Trueの「あはは」、西野カナの「A HA HA」をたまたま聞き、「快活に笑う」表題の歌が、複数存在することを知って興味をもったから、ということにしておきます。(以下「である」「だ」体で記述します。)

研究の手がかりは先行研究を読むことと、情報収集によって得られることが多いので、まず先行研究を探す。研究文献を探すのに便利なのが、国立情報学研究所のウェブサイト[CiNii]。その論文検索に〈笑い歌〉と入力して検索してみると、152件がヒット。ふるいにかけた結果、参考になりそうな文献は2件で、それも、読んでみると、テーマに関連の薄い論文であることが判明した。

先行研究探しに行き詰まったので、「あはは」と「A HA HA」の歌詞を丁寧に読んでみることにする。イン

ターネット上には、歌詞関連のサイトが複数あり、Googleで「あはは歌詞」と入力するとすぐたどり着けて、2曲とも別れの悲しみを基調にした歌であることがわかる。

その歌詞を読んでいるうちに、かつて倉木麻衣やウルフルズが「あはは」「ははは」と笑う歌詞を歌っていた記憶が蘇る。あれは何という歌であったか。歌詞を扱うサイトの一つ[うたまっぷ]には歌詞全文のフレーズ検索があるので、試してみると、キーワード〈アハハ〉で倉木麻衣の「Reach for the sky」が、キーワード〈ハハハ〉でウルフルズの「笑えれば」が見つかり、歌詞も読むことができた。

この検索で意外な発見があった。かなり多くの曲(約150曲!)の歌詞に「あはは」「ははは」「アハハ」「ハハハ」が含まれていることがわかったのである。この現象にはきっと何か意味があるはずだ。歌詞の中で笑っているのは誰か、いつ発表された歌なのかなど、いろいろ分類して研究してみる価値がありそうだ……

……以上のように、研究すれば何かが見つかりそうだという見通しと、調査する対象としての資料を発見できたら、研究に確実に着手できたといってよいでしょう。インターネットは万能ではありませんが手軽に使えるので、あれこれ試行錯誤してみるとよいと思います。

(立教セカンドステージ大学運営委員)

入学式とウェルカムパーティー

2016年度 ~学びへの情熱と新しい出会い~



入学式

満開の桜の花に迎えられ、4月2日(土)立教セカンドステージ大学本科9期生100名、専攻科8期生48名の入学式が、池袋キャンパスのチャペルで厳かに行われました。吉岡知哉学長の訓辞、諸先生方からの祝祷を受け、学びへの情熱を再確認いたしました。

また、4月21日(木)には、専攻科生の方々が中心となり伝統ある第一食堂でウェルカムパーティーが開催されました。キャンパス生活にまだ慣れない本科生でしたが、教職員や専攻科生の皆様に温かく迎えられ、新たな人々との交流に楽しいひと時を過ごしました。



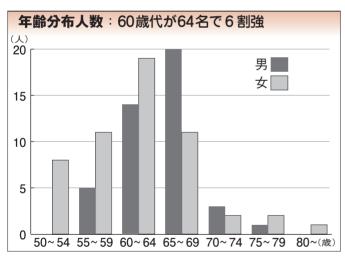
ウェルカムパーティー

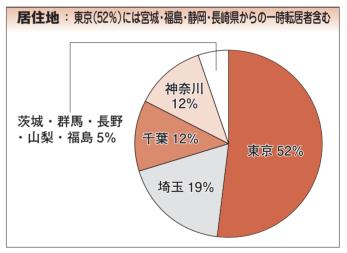
本科生の横顔

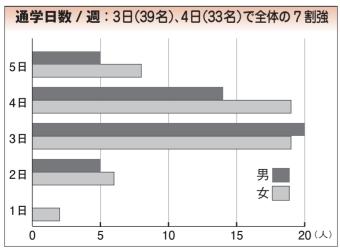
基本データ・在籍者 100名 (男性45名・女性55名)

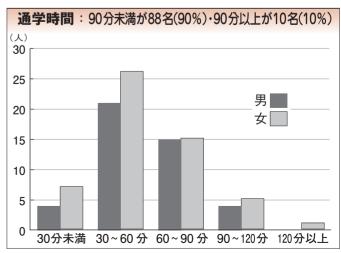
・平均年齢 63歳 (最高齢83歳・最年少50歳)

アンケートは、100名中98名に回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

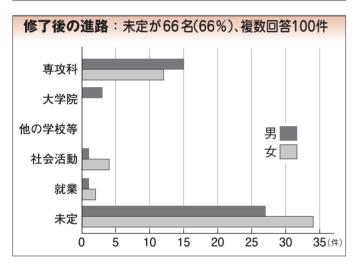








入学の動機:複数回答としたため、回答数は193件 これからの生き方 新たな出会い等 教養・生涯教育 専門分野の学習 規則正しい生活 男 女 居場所探し その他 20 25 30 35 40(件) 10 15 n



自由意見 (同様な意見のまとめ、抜粋および要約)

≪良かったこと≫

- ・新しい出会い、新しい知識を得られる
- ・図書館が利用できること、蔵書も多い
- ・世代の違いや様々な方との交流、友人ができた
- ・家庭から離れることで気持ちの切り替えができる

≪苦労していること≫

- ・パソコン操作
- ・修了論文の作成
- ・通学で思ったより疲れる
- ・仕事との両立、家事や介護との両立

≪その他の意見≫

- ・久しぶりの勉強で、楽しくもあり苦しくもありだ が一生懸命がんばりたい
- ・全学共通科目での授業、メディアセンターでのパ ソコン講習会等新しい扉が次々と開いていくよう な感覚でわくわくしている
- ・キャンパス内の移動が疲れる
- ・地域社会での貢献を考えたい

≪アンケートまとめ≫

アンケートの結果から、9期生の学びへの情熱と 新たな人々との出会いに満足している様子がうかが えます。一方、現在仕事をしている方も24名います。 仕事や家事・介護などと勉強の両立に苦労している 方々もいます。

最後まで、9期生全員で卒業できるといいですね。

本科生と専攻科生の比較

| | 本科生 | 専攻科生 |
|---------|---------------|--------------|
| 在校者数 | 100名(男45・女55) | 48名(男30・女18) |
| 平均年齢 | 63歳(男64・女61) | 63歳(男63・女63) |
| 全学共通1科目 | 36名(男16・女20) | 12名(男7・女5) |
| 全学共通2科目 | 22名 (男14・女8) | 23名(男12・女11) |

※RSSCの学生は、RSSC選択科目の他に、立教大学学部生を 対象に開講される全学共通科目を一定の条件で2科目まで履修 することができます。何名の皆さんが全学共通科目を受講して いるのでしょうか。RSSC本科生と専攻科生のあんなこと、こ んなことを比較してみました。

受講科目数

(名)

| 科目 | 本科生 (RSSC) _{科目のみ}) | 本科生 (全学共通) 科目含む) | 専攻科生 (RSSC) 科目のみ) | 専攻科生 (全学共通) 科目含む) |
|----|------------------------------------|------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 2 | _ | | 1 | |
| 3 | | | 3 | 1 |
| 4 | 1 | | 5 | 5 |
| 5 | 9 | 5 | 5 | 5 |
| 6 | 16 | 11 | 10 | 1 |
| 7 | 27 | 18 | 10 | 7 |
| 8 | 29 | 20 | 11 | 12 |
| 9 | 12 | 23 | 2 | 9 |
| 10 | 6 | 23 | 1 | 8 |

先の家業に就いていました。義母を長取り子育でもひと段落した今、これからの人生を考えて、らの人生を考えて、らの人生を考えて、らの人生を考えて、らい世界や人々とのい世界や人々とのいたよる新たなられによる新たなられによる新たなられたよる新たなられたよるが、そして、そ もなく結婚 願のに 大 す州 社 学卒 会に出 るのい た長 思 を考えて、 -業と同 め崎 ふし、 い切って、知らなる れば なれば なれば もれば もれば もれば もれば もれば もれば もれば もれば もれば 「ること にか 嫁ぎ 5 لح 7 看

第二の人生を迎えて 9期生 劉 菊惠

授業のない キに イト ・ヤン 縁 映 躍る毎日です。 のを で金 激を受けたり、 なった方 ŋ 違 参 会・講出の 世辺であ う職 あ 加 18 れまでとは を いって ミサ したり、 L ない 、スライ たち 種 0) 0) 瞬演会など た うらこ りと 発 0 やチ 々 同 ま ŋ 時 T 映 ヤ か期 未ち日ル ラ と 全に ペ毎

ことをやり わき市 午 に2泊3日 息 しました。福島県 実した日々です。 素 術 口 0) なうちに 子の 前 強 年大病をし、 晴 館 通 午後は 中 学 5 巡 から、 į マンシ L ŋ は 思 生に É P は授業と Ĺ 11 Þ 趣 7 61 浅草 义 立味 で 13 れ l J 入 ま 週 日 る 書 教の 元

元気なうちにやりたいことを 9期生 **箱崎** 正廣

しつつ、 を満喫 考えています。 3 11 願だった大学生 元 家 労はありますが、 して良い 遠 思 で地 0 族 種 刺激 います。 0 距 多 害を受け 東日本大震災 しています。 理 離 様 域 卒業後 も受け、 活動 解に かった な仲 通 学 た地 なは、 感謝 をと 0 間 念苦 入か 活

インタビュー

RSSCのカリキュラムは、全員が必ず参加するゼミナールに大きな特徴を持っています。本年度も8つのゼミナールが設けられ、個性あふれる担当教員の指導のもと、ゼミ生同士の相互研鑽が活発に展開されています。ゼミナールは、これまでの人生経験を含めて各受講生が持っている知的な潜在能力を引き出すための共同作業です。

本科ゼミ

加藤ゼミ

◇花の色は うつりにけりな いたずらに

わが身世にふる ながめせしまに一小野小町の歌にわが身を映しつつも、今は時代が違うとセカンドステージを有意義に過ごそうという仲間が集った加藤ゼミ。和歌や古典文学がご専門の加藤先生のゼミは和歌のユニークな解説からスタート。笑いで場が和んだ後には各人が修了論文のテーマ発表をしていますが、先生は論文のヒントとなる考え方、資料の探し方など適切なアドバイスをくださっています。メンバーたちも当初は表情が硬く、ぎこちなかったものの、今では全員の距離が近くなり、豊富な知識、経験に基づいた意見を気さくに述べ合うなど、とても刺激的な時間となっています。

山上憶良の「世間の住り難きを哀しめる歌」(概訳:年月は流れ去り乙女もやがて髪に霜をいただき、青年も若いままで



はいられない、私 も老いてしまった …以下略)にある 生きることへの問 いかけに、私たち は楽しく有意 な大学生活で えていきます。

菊野ゼミ

◇個性豊かに楽しい学びを!

労働の人間化論を専門とする菊野先生率いる菊野ゼミは、男性6人、女性7人の13名で構成されています。年齢も経歴もまったく異なる個性豊かで魅力的な人たちが多いゼミです。懇親会やゼミの回数を重ねるごとに、互いを理解することが徐々にできてきているようです。RSSCに入学した理由は各人様々ですが、学びへの熱意が伝わるゼミが展開されています。

ゼミは隔週ごとに本ゼミとサブゼミで進められます。 本ゼミは修了論文の執筆過程を発表し合い、サブゼミは 個人の興味・関心に基づいた内容で盛り上がっています。

これまでのゼミでは、老後の生き方、温泉やワインの効能、 観劇のすすめ、園芸による心の癒し、旅の楽しみ、学ぶことへ の生甲斐、高齢者の自立支援などが提起されました。今後も



知的好奇心が刺激されるゼミを展開している学いまのまる学びを獲得し、RSS Cに入学した目的も達成できると 思います。

千石ゼミ

◇楽観を手放さない! 何よりも楽しく学ぼう!

縁あって100名の中から選ばれた13名(男性6名、女性7名)を指導して下さるのは、素敵なシャツをさり気なく着こなす千石先生です。専門はアメリカ文学。ある時は哲学を(時を忘れて)熱く語り、またある時は隅田川の川下りを楽しむ「ブラ千石」に変身される一面もお持ちです。

自己紹介と修了論文テーマ発表で、50~70歳代のゼミ生から13通りの人生の軌跡が語られ、感動の溜息が漏れました。修了論文に不安を持ち先生にヒントを伺うと「まずは影の部分から探りましょう」で、更に??となった事も。今は先生の提案で修了論文と並行して、ニーチェの「ツァラトゥストラ」を要約し発表する事に取り組んでいます。個々の考えを尊重しつつ大いに議論し合い、これまでのしがらみに囚われる事なく、



副島ゼミ

♦ Shall We Dance?

副島ゼミは、女性7名、男性5名の12名で年齢は、51歳から80歳までの幅広い世代が集まりました。そのうちの5名が海外暮らしの経験があり、国際色豊かな話題で盛り上がることもしばしば。それぞれの人生が全く違うので、毎回興味津々な話が盛沢山。懇親会でも、話は尽きません。

副島先生のご専門は、ドイツ文学を中心にドイツ文化、身体文化、舞踊学と多岐にわたり、個性的なヘアースタイルのおしゃれな先生です。修了論文のテーマ発表では、先生がより良い論文にする為に、熱心かつ適切なアドバイスをして下さり、論議が白熱してあっという間に時間が過ぎていきます。先生専門のダンスのお話も楽しみですが、当ゼミには、カントリーラインダンスの世界大会



ナール紹介

各自が関心のあるテーマを発掘し、調査研究を重ね、その成果の発表と討論により、さらに深化・発展させます。さまざまな観点からさまざまな問いを研究対象に向け、修了論文の完成を目指します。 また、ゼミナールは、ゼミ生同士が互いに理解し、友情を深め合う仲間づくりの場ともなっています。

野田ゼミ

◇心に太陽、唇に歌を

タイトルに挙げたのは、年長のゼミ生の言葉によく出てくる名言です。このように野田ゼミ13名(男性6名、女性7名)は、常に明るく前向きで個性豊かなメンバーが集いました。

ご指導いただくのは、アメリカ文化、環境文学がご専門の野田研一先生です。先生は多義にわたるゼミ生の修了論文の構想を穏やかな表情で聞いてくださり、問題点や方向性を美しく丁寧な言葉で的確にご指導してくださいます。アニメ「もののけ姫」について、熱く語るとても素敵な先生です。

週1回のゼミの時間は、私たちにとってとても楽しみな時間です。年齢も生活してきた場所も人生経験も皆違いますが、だからこそ一人ひとりの言葉に学び、熱いに語られる意見も受容できます。発言や発表は一人の持ち時間を超えて、終了時間

を過ぎてしまうこともあります。

RSSCで出 会った「キラッ!」と 光る13名。目指 すものに向かって 協力しながら励ま しあいながら頑 張っています。



平賀ゼミ

◇生涯の友を目指して!

蔦の絡まる学び舎に入学しアッという間に時は過ぎています。私達平賀ゼミは、山形ゼミ長・増田副ゼミ長を中心に男性6名・女性7名、総勢13名のチームワーク抜群の仲間達です。50代から70代迄の幅広い年齢層で関東地区の方々が中心ですが、遠くは長野県上田市・福島県いわき市より東京に宿泊しながら通学している方もいます。それぞれに多種多様なキャリアを持ち、個性豊かな人材の集まりでもあります。

平賀正子先生の貴重かつ適切なアドバイスを受けながら、現在自主ゼミにおいては修了論文の「課題」について全員でディスカッションをしながら、時には「びっくりポン」的な鋭い指摘も頂戴し…?和気あいあいの中、それぞれ自分のペースで取組んでいます。

「RSSCの仲間は生涯の友!」を目指して、時には課外授業もし、有意義な時間を共有しRSSC生活の青春を楽しんでいます。



渡辺ゼミ

◇渡辺丸、Bon Voyage!

男子5名、女子7名で航海に出た渡辺丸は、出帆直後からうまく「風」を捉えられずに、なかなか正常な航路に乗ることができません。個性豊かなメンバーたちは、出帆直後に行われた船長の訓示を聞いて我を忘れてしまったようです。その一言とは「問いを尽くせ、アカデミズムを追及せよ、リベラルアーツこそ最強」であります。普段(と飲み会)ではにぎやかなのに、教室に入ると借りてきた猫のようになってしまうのでした。

メンバー同士が自主的に助け合って、それぞれのテーマに向かい、アカデミックなプロセスを経て、ゴールを目指してほしいとの温かい励ましなのでしょうが、はたして渡辺丸、一人の遭難者も出さず、無事に目的地に到

着しとた後航て船柄てしきうき、思がまのわまるかまそ議見しおかしていいしたからのにえた。人ったで?しのにえた。人ったで?しのにえた。人った



上田ゼミ

◇まず「絵」を描くことから始まりました

飄々とした風情をそれとなく醸し出す上田先生。そこに年齢も、それまでのキャリアも違うさまざまな12名(男性6名・女性6名)が集まりました。ユニークな上田ゼミです。

まず最初に上田先生が発したお言葉。それは「人生のターニング・ポイントになった出来事を発表してください」でした。その次の課題。「それを絵に描いてください」です。写真ではなく絵で表現するところに、なんだか深い意味があるのだとか。そこから抽出する「モノ」と「人」。そして「意味」。

それは、その人だけが表現できるオリジナルな内容。あぁ修了

論文作成の練習だったのです ネ。上田ゼミの12 名が、この事実に気づいたのは 後々のコト。そん なこんなでゼミの 時間は飄々と過 ぎていきました。



専攻科生に聞きました

(6月実施、回収率69%。その他及び自由意見、要約)

1年間の本科修了後、本年度も48名が専攻科へ進学しました。ゼミ紹介とともにアンケート による本科生へのアドバイス等をいただきました。

1. 専攻科を選んだ理由

その他 4%-

仲間との交流 40%

学びの延長 36%

時間がある 20%

その他=[研究活動をするため] 「ボランティアをする準備」 「ゼミへの新たか期待」

2 進学後の感想

その他 5.9%

まだわからない 44.1%

充実感がある 35.3%

がぎた 14.7%

その他=「全学共通科目がおもしろい」

3. 進学して良かったこと

| 交流が楽しい 42.1% | 図書館が魅力 | 学びの深化 | その他 |
|--------------|--------|-------|-------|
| | 26.3% | 15.8% | 15.8% |

その他=「学びが楽しい」「研究会メンバーとの交流」 「本科と異なる講義が良い」「規則正しく過ごせる」 「本科より良い修論ができそう|

4. 修了論文のテーマ

| 新たなテーマ 48.5% | 未定 33.3% | 本科から の続き 18.2% |
|--------------|----------|----------------------|
|--------------|----------|----------------------|

5.RSSC で最も気に入ってる点

その他 9.8%

環境が充実 41.5%

先生や仲間との交流 31.7%

ゼミや講 義が充実 17,1%

その他=「全学共通科目が良い」「研究会活動・クラブ活動」 「大学生のような学生生活を楽しめる」

6. 本科生へのアドバイス

その他 4.9%

仲間づくりを楽しむ 43.9%

修了論文は気軽に 29.3%

授業選択 の吟味 22,0%

その他=「修了論文は全力で」 「周囲に流されず、自分の考えで行動を」

7. 修了後の進路

複数ある3.1%

未定 65.6%

ほぼ予定済み 28.1%

その他=「研究会活動を生活の中心にして継続したい」

その他3.1%

自 囲

通じて本科は会活動目的の 生のト いはざまで悩みがいの自由意見には ・専攻科生との の交流を深めて」「修論は大変だが今を楽しんで下さい、が…」「去年よりレポートや課題が多い」等の感想のこは、「進学しなかった修了生との交流も楽しい」「立教 -や課 · ほを と か離れ 61 n 「研が うアド た 究会活動にいいの イスもあ ・ク

専攻科ゼミ紹介

自由奔放なれど、どこか厳しい 一上田ゼミー

上田恵介先生のもと、自由奔放ながら 和気藹々としたメンバー、飲み会で人生 を語り、自主ゼミで知的好奇心を刺激し あい、充実した時間を過ごしています。 (先生からは「修論の事も忘れるな」と 念を押されています。)

一期一会・出会いを大切に 一鈴木ゼミー

鈴木ゼミは年齢も価値観も違う総勢 10名の個性豊かな仲間の集まりです。お 互い刺激しあう中で、そこにはおのずと 真剣味があり、活発な議論へ進むことも あります。毎週「一期一会の出会い」を 大切にしているゼミです。

多彩なひとが集まったゼミです ー高橋ゼミー

メンバー9名(女性5名、男性4名)の うち、3名はRSSCが大好きな留年生(7 期入学)です。詩作、バレエ、日本舞踊、 社交ダンス、山登り、ランニングなど多 彩な趣味を持った人が集っています。

モットーは「楽しく」 一 坪野谷ゼミ 一

坪野谷先生はほぼ毎週ゼミに出席さ れ、ご専門の金融に関し最新の新聞記事 を用い、わかりやすく解説して下さって います。ゼミ員同士『コミュニケーショ ン』を重視し、『飲みニケーション』実 践中。この「楽しい」雰囲気を一年間継 続できればと思っています。

良き日本社会の在り方とは 一成田ゼミー

社会学者のダンディな成田先生の元 に、個性豊かで笑顔のたえない男性6人 女性4人のワインの味がわかる仲間が 集まりました。共同研究を目標に、「経 済 | と「文化 | の視点から2グループに 分かれて意見交換しながら各自の目線 で研究しています。

0

的

ラ目

活と もした。

ブ

ń

ź

新規科目紹介

「修了生が語るアクティブシニアの生き方」-

立教セカンドステージ大学(以下RSSC)は2017年に創立10年目を迎えますが、今までに約800名の修了生が卒業しています。今年度には、新規科目として「修了生が語るアクティブシニアの生き方」が新設されました。

修了生のアクティブな生き方をトレースすることによって、これからの私たちの生き方について貴重な指針やヒントを得ることができるものと思われます。

授業では、修了生から個人的なキャリアや特技・趣味・RSSCでの学びと人的ネットワークを活かした、社会交流や社会貢献活動の多様な事例の発表が行われ、その後、質疑応答やグループディスカッションが行われます。

これまでに行われた修了生の発表の一部を紹介いたします。

「地域の子供に寄り添うし

~学習支援・子ども食堂へのチャレンジ~

修了生のM.Iさんは、NPO法人「台東区の子育てを支え合うネットワーク」(たいとこネット)を立ち上げ、近隣の子供たちに学習支援「あすなろ」や下町こども食堂「さくら」「千東」による食の支援などの活動をされています(こども食堂は2015年10月NHK「おはよう日本」で紹介されました)。

「NPO法人コットンドリームの活動」

~原発災害による耕作放棄地の復興をめざして~

修了生のK.Oさんは、RSSCの仲間とともに福島県いわき市の原発災害による耕作放棄地の復興をめざして、地元のNPO法人とも連携し、害に強いコットンのオーガニック栽培を行い、Tシャツ、タオル、手ぬぐい、人形等に商品化して、販売する活動をされています。

社会貢献活動サポートセンターの紹介

セカンドステージに役立つ調査・研究活動や社会的に意義のある活動を自主的に行っている受講生および 修了生の団体を側面から支援するために大学が設立したしくみです。2016年3月末時点で13団体が登録され、 受講生、修了生が一緒になって社会貢献を目指して自主的な活動を展開しています。

新たな団体の申請は、6ヶ月の審査に基づいて登録が認められ、運営指導等をサポートしてもらえます。5月26日、本科生に向けての、現在の活動状況及び今後の活動計画についての発表会が行われました。詳しくは、RSSC同窓会ホームページをご覧ください。

| アジアの貧困とNPO/NGO 支援研究会 | アジア諸国の貧困の実状について調査・研究し、対外活動や現地訪問を実施する。NPO/NG Oの活動にも参加する。 |
|----------------------------|---|
| かがやきライフ研究会 | 修了生中心に自らデザインして行く生き方を広く多くの人々に知ってもらい、"かがやけるライフ"を 送るために情報発信する。 |
| ウクレレ合唱団『鈴懸』 | 「介護と看取り」の授業をうけてウクレレ合唱団を創設。初心者を集め月2回練習。高齢者施設等への訪問演奏会を定期的に開催している。 |
| 日本に住む外国人を考える会 | 日本に居住している外国人の歴史・生活・文化の実情を知り、共に生きていくために何が求められ、 どのような行動が必要かを調査研究し実践する。 |
| 生きがい創造研究会 | 会員相互に生きがい、研究、社会参加等の発表をするほか、外部諸組織との研究交流も行う。 |
| アクティブシニア研究会 | 東日本大震災支援のオーガニックコットンPJが昨春、NPO法人「コットンドリームいわき」として認可された。 |
| コミュニティ活動研究会 | 「としまNPO推進協議会」はじめ各種社会貢献活動団体とのコラボレーションを図り、RSSC修了後の再チャレンジをサポートする。 |
| プラチナ社会創造研究会 | 三菱総研とのコラボレーションにより、①丸の内プラチナ大学へ参画。②高知プロジェクト他地方創生の研究。③東京オリンピックレガシーの研究を進める。 |
| 経済·社会問題研究会 | 身近な経済と社会問題を、分かり易く本質的に研究し、外部団体とのコラボレーションを通じて対外的活動を推進する。 |
| キリマンジャロの会 | 岩男壽美子先生の「アジア・アフリカの貧困とNGO」授業より派生。NGO活動『さくら・ビジョン・タンザニア』の女子中学校設立プロジェクトを」支援中。 |
| オリンピック・パラリンピック・ レガシー研究会 | ①障がい者スポーツイベントへの応援 ②学内イベントの企画と全学ムーブメントのPR ③居住地のコミュニティへのパラリンピックのPRを展開中。 |
| RSACアカデミック・コミュニティ | 地域自治体と連携し小学生補習支援・シニアサロン連携・シニア大学連携・海外留学支援・地域 活性化支援等多彩な活動を展開する。 |
| ソーシャルビジネス研究会 | 社会的課題の解決に事業性を見出し、新産業・新たな働き方を創出するために学習会、現地視察と報告会を随時行う。 |

ドキュメンタリー映画「首相官邸の前で」上映会&トーク 2016年6月20日(月)

立教セカンドステージ大学主催

3.11の福島原発事故の後、毎週金曜日の夕方 18~20時に継続して首相官邸前に集まり脱原 発の抗議行動が行われました。最大ピーク時 には20万人を動員しましたが、その全貌につ いては、マスコミは報道しませんでした。

組織らしい組織もなく、ネットで知った人々が集 まって、大きな運動となり、首相との直接対話にま で至る様子が、様々な人により自主撮影された映 像で描かれています。またその出来事に関わった 8名(全く異なる立場にいた人たち)へのインタ ビューを交えて、構成された映画です。

上映後、小熊英二監督・上野千鶴子先生・ 香山リカ先生を交えてのトークが繰り広げら れ、終了時間を大幅に延長して盛り上がりを みせました。また登壇者や会場の参加者から 「ドイツの友人からこの映画の事を聞いてここ に来た。「「タイミング的に政治的なメッセージと



フィールドスタディ

―すがも平和霊苑見学会―

6月14日(火)小谷みどり先生「最後まで自分らし く」の授業の一環として、巣鴨駅から徒歩10分程の 距離で「とげぬき地蔵」に隣接する『すがも平和霊 苑』を見学しました。当日は20数名が参加し、後継 ぎがいなくても利用できる永代供養合葬墓など新 しい形態のお墓を見学しました。住職から、少子化



松島龍戒住職と小谷みどり先生

▼ や核家族化などに伴い お墓事情が変化してい る昨今、お寺側も多種類 のお墓を用意し、コスト がかからないよう工夫 しているなど貴重なお 話を伺いました。

6月30日(木)夕刻から第一食堂にて開 催された、春学期を締めくくるアー リーサマーパーティー(昨年までは納 涼パーティー)は、先生方・本科9期生・ 専攻科8期生とが一堂に会する交流の 場です。

専攻科総ゼミ長の乾杯で喉を潤し、 芸達者な方々の素敵なアトラクション がお披露目され、とても楽しい時間を 共有しました。



~~~~~ 事務室紹介 *~~~~*~

RSSC受講生が一番お世話になっている事務室の皆さんを紹 介します。RSSC受験希望者からの問い合わせに始まり、受験 に伴う事務全般、入学後のオリエンテーション、各授業のサポー

ト、ゼミ長会議や ニューズレター委員 会、各レクリエーショ ン委員会の運営のサ ポートまで、5名の皆さ んが裏方として支えて くれています。私達が 安心して学生生活を送 れるのも、皆さんのお かげです。



ー ありがとう! とても感謝しています

∽--~- 編集後記

RSSCに興味を持った 時、情報満載のニューズ レターはとても参考にな りました。今、作成する 側に立ち、新たにRSSC に関心をもたれた方々に この大学の素晴らしさを お伝えしたい、そして、 9期生および8期生の思



い出に残る広報誌にしたいと願い作成しました。この気持ちが お届けできれば幸いです。皆様のご協力に感謝申し上げます。 清水洋 渡邉やよひ 伊能優子 (編集長) 川口眞理子 布施弘光 寺脇隆 (副) 宇治川紀子 (副) 曽根田恵子

立教セカンドステージ大学ホームページ紹介

立教セカンドステージ大学の詳しい情報や受講生が作成した「ニューズレター1号~17号」は、

ホームページからご覧いただけます。 立教セカンドステージ大学

検索